

会 告

日本鉄鋼協会 第58回通常総会 第85回講演大会 開催ご案内

会 員 各 位

日本鉄鋼協会会長 中 野 宏

本会は昭和 48 年 4 月 5 日 (木) 第 58 回通常総会を、4 月 5 日(木)、6 日(金)、7 日(土)の 3 日間第 85 回講演大会を東京工業大学で開催いたしますので、何卒ご出席下さいますようお願い申し上げます。詳しくは「鉄と鋼」第 4 号講演概要集に掲載いたします。懇親会、ジュニアパーティーの申込は本誌会告添付の申込書でお申し込み下さい。

記

日 程	4 月 5 日 (木)	9:30	学 術 講 演 会
		13:30	第 58 回通常総会, 表彰式 特 別 講 演 会
		18:00	懇 親 会
4 月 6 日 (金)	9:30	学術講演会, 浅田賞受賞講演会	
	13:00	学術講演会, 討論会	
	18:00	ジュニアパーティー	
4 月 7 日 (土)	9:30	学術講演会	
	13:00	学術講演会, 討論会	

会 場	講 演 会	東京工業大学第 3 新館, 中棟 3 号館
	通 常 総 会	東京工業大学第 3 新館 331 号室
	特 別 講 演 会	東京工業大学内大学食堂
	懇 親 会	東京工業大学内大学食堂
	ジュニアパーティー	〃
		(東京都目黒区大岡山 2-12-1)

昭和48年度秋季(第86回)講演大会討論会講演追加募集のお知らせ

昭和 48 年秋季(第86回)講演大会は、昭和 48 年 10 月 19 日(金)、20 日(土)、21 日(日)九州大学において開催されますが、その討論会の講演募集をいたしておりましたが、さらに下記テーマの講演を追加募集いたしますので奮ってご応募下さいますようお願いいたします。

1. テ ー マ 鉄鋼の強化組織と靱性 座長 荒木 透君

(本テーマは、金属学会「混合組織をもつ合金の強度と靱性」と合同シンポジウムとして開催)

上記テーマにより金属学会との合同シンポジウムを開催いたします。つきましては鉄鋼に関して、各種の変態組織(熱処理—加工熱処理を含む)の強化挙動と靱性、延性との関連を、主として微視組織面からのアプローチにより追究した「研究報告」ないし「review」を募集いたします。(関連組織としては、微細化フェライト組織、中間段階変態組織—ベイナイト等不完全焼入組織、HTMT ないし動的回復—再結晶組織、オーステナイト—マルテンサイト混合組織等)

2. 申込締切日 昭和 48 年 3 月 30 日(金)

3. 申込方法 前号(鉄と鋼 2 号)綴込みの申込用紙(ブルー色)に必要な事項ならびにアブストラクトをお書きのうえお申し込み下さい。

その他詳細は前号をご覧下さい。

第 20 回西山記念技術講座開催のお知らせ

— テーマ：鉄鋼材料の環境脆化 —

第 20 回西山記念技術講座を下記のとおり開催いたしますので多数ご来聴下さいますようお願い申し上げます。

1. 期 日 昭和 48 年 5 月 17 日(木), 18 日(金)
2. 会 場 大和証券ホール (東京都千代田区大手町 2-6-4, 大和証券ビル 8 階)
TEL 03-231-0423

3. 演題ならびに講師

第 1 日

9:30~12:00	環境脆化の機構に関する最近の進歩	名古屋工業大学	大 谷 南海男君
13:00~15:30	炭素鋼, 低合金鋼の応力腐食割れ	日本鋼管技術研究所	松 島 巖君
15:30~17:00	超高張力鋼の応力腐食割れ	金属材料技術研究所	金 尾 正 雄君

第 2 日

9:30~12:00	ステンレス鋼の応力腐食割れ	日本冶金工業川崎製造所	遅 沢 浩一郎君
13:00~15:30	鉄鋼材料の腐食疲労	日本原子力研究所東海研究所	近 藤 達 夫君

4. 講演内容

環境脆化の機構に関する最近の進歩 名古屋工業大学 大 谷 南海男君

鉄鋼の環境脆化のうちでとくに重要なものは応力腐食割れと水素脆化である。前者を説明する機構としては、金属応力、環境のうち、どの因子を重視するかによつて諸仮説がある。後者においても、水素吸着説、水素ガス圧説、格子脆化説その他の諸説が提出されている。これらの仮説の長短について再検討してみたい。

炭素鋼, 低合金鋼の応力腐食割れ 日本鋼管技術研究所 松 島 巖君

炭素鋼, 低合金鋼の応力腐食割れにかかわる諸実験的事実, 現象, 理論を体系的にまとめ, これらとの関連において割れの実例を挙げて解析し, 応力腐食割れの診断法, 対策, 適性材料の選択について述べる。硝酸塩, アルカリ, 液体アンモニア, シアン, CO-CO₂ などによる応力腐食割れ, 硫化物などによる水素脆性割れを対象とする。

超高張力鋼の応力腐食割れ 金属材料技術研究所 金 尾 正 雄君

高力ボルト材, 低合金鋼やマルエージ鋼などの超高張力鋼などにおける応力腐食割れ現象の実例を示したのち, 感受性の評価法を紹介する。つぎに, 応力腐食きれつの発生と伝ばに関連する要因, 破壊の微視的, 巨視的様相について述べる。さらに, 雰囲気, 温度, 応力状態など使用環境の影響, 組成, 組織, 冷間加工など材料の応力腐食割れ感受性に影響をおよぼす冶金学的要因について述べる。また, 防止対策についても若干触れたい。

ステンレス鋼の応力腐食割れ 日本冶金工業川崎製造所 遅 沢 浩一郎君

ステンレス鋼の実装置における応力腐食割れ防止のための経済的抜本策は見出されていないのが現状で, その湿食事例の過半数が応力腐食割れによるといわれている。そこで応力腐食割れ防止を念頭に置きながら, 応力腐食割れ事例, 各種ステンレス鋼の応力腐食割れに影響する環境および金属側因子具体的防止対策, 評価法などについて述べる。

鉄鋼材料の腐食疲労 日本原子力研究所東海研究所 近 藤 達 夫君

腐食環境における金属材料の疲れ破壊をき裂の発生と伝播の二つの過程にわけて, とくに鉄鋼材料に対する関連研究分野の異なる視点に立ついくつかの説について述べる。さらに各論では, 工業的におこりうる具体的な材料と環境の組合せについて, 腐食疲労を支配する材料因子 (鋼の組成, 組織, 強度特性など), 力学的因子 (応力振幅, 波形, 変動速度など) および環境因子 (温度, 溶液または気体の腐食条件など) と, それらの相関について述べる。

5. 聴講無料 (事前の申込みは必要ありません)
6. テキスト代 2000 円
7. 問い合わせ先 日本鉄鋼協会編集課 Tel. 03-279-6021

東 海 支 部

総会ならびに特別講演会開催案内

本会東海支部では昭和 48 年総会ならびに特別講演会を下記により開催いたしますので多数ご来場下さいますようお願い申し上げます。

記

- 日 時 昭和 48 年 3 月 13 日 (火) 13:30~15:30
(1) 総 会 13:30~14:00
(2) 特別講演会 14:00~15:30

場 所 名古屋市千種区不老町 名古屋大学附属図書館視聴覚室

特別講演

講師および題目 “鋼中の不純物の哲学” 川鉄製材工業(株)社長 工博 今井光雄君

第 85 回講演大会懇親会開催のお知らせ

本会では第 85 回講演大会を昭和 48 年 4 月 5 日(木)、6 日(金)、7 日(土) の 3 日間東京工業大学 (東京都目黒区大岡山 2-12-1) において開催いたしますが、講演大会に際し全国各地からお集まりになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇親会を開催いたします。

会費などについても、より多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気での催しとしたいと思いますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 昭和 48 年 4 月 5 日 (木) 18:00~20:00
2. 会 場 東京工業大学内大学食堂
3. 会 費 1 500 円
4. 申込締切日 昭和 48 年 3 月 26 日 (月) 17 時着信まで
5. 申込方法 下記申込書に必要事項ご記入のうえ会費 (現金書留) を添えお申し込み下さい。
6. 申 込 先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
日本鉄鋼協会懇親会係 Tel. 03-279-6021 (代)

第 85 回講演大会「懇親会」参加申込書

申込締切日 昭和 48 年 3 月 26 日 (月) 17 時着信まで

送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお払込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 郵便番号 100

日 本 鉄 鋼 協 会 懇 親 会 係

会 員 資 格	賛 助	正	学 生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな				
氏 名.....				
勤務先および				
職 名.....				
勤務先所在地.....				(郵便番号)
領収書送付先.....				(郵便番号)
通信先 (勤務先と違う場合).....				(郵便番号)
ご夫人名			送金額 ￥ 1 500	

第 85 回講演大会ジュニアパーティー開催のお知らせ

本会では来る4月5日(木)、6日(金)、7日(土)の3日間東京工業大学において、第85回講演大会が開催される機会に、ジュニアパーティーを開催いたします。

ジュニアパーティーは会員は誰方でも気軽に参加でき、自由放談、親睦交歓の場として催されておりますが、前回から新しい企てとして講演座長、協会の各種研究委員会などの委員長の中から数名の方をお招きし、これらの方々を囲み技術面あるいは研究面で苦心している点、最近のトピックスなどを語り合える機会を作ること考えました。同時に講演会場では十分でなかつた討論の継続もしていただいても結構です。

多くの会員が専門を年齢を離れて集い、大いに語り合い楽しくくつろいだひとときを過ぎていただくために、気軽に参加がいただけるよう会場も講演会場内の大学食堂といたしました。

お誘い合せのうえ多数の方々がご出席下さるようご案内いたします。

記

1. 日 時 昭和48年4月6日(金) 18:00~20:00
2. 会 場 東京工業大学内大学食堂
3. 会 費 1000 円
4. 申込締切日 昭和 48 年 3 月 31 日 (土)
5. 申込方法 下記申込書に必要事項ご記入のうえ会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。
6. 申 込 先 〒 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階
日本鉄鋼協会ジュニアパーティー係 TEL 03-279-6021

第 85 回講演大会ジュニアパーティー参加申込書

- 申込締切日 昭和 48 年 3 月 31 日 (土)
- 送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお払込み下さい。
- 送付先 〒 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階
日本鉄鋼協会ジュニアパーティー係

会 員 資 格	正	学 生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏 名		
勤務先および* 所属部課名		
勤務先所在地			(郵便番号))
領収書送付先			(郵便番号))
通信先(勤務 先と違う場合)			(郵便番号))
送金額 ￥ 1000			

注) * 印欄はネームカードを作成いたしますので、詳細にご記入下さるようお願い申し上げます。

第4回真空冶金国際会議 (ICVM) 参加者募集

日本金属学会, 日本鉄鋼協会, 日本真空協会共催のもとに 1972 年 6 月 4 日から 8 日まで, 東京経団連会館において第4回真空冶金国際会議が開催されます。下記の要領で参加者の募集をいたしておりますのでお申込み下さるようご案内いたします。

1. 会議日程

- 6月3日(日) 13:00~18:00 参加登録 (パレスホテル)
 6月4日(月) 9:00~ 参加登録 (経団連会館 1102号室)
 10:00~ 開会式 (経団連会館国際会議場(11階))
 特別講演 (同 上)
 Sect. 1 講演 (同 上)
 19:00~ Cocktail Party (同, ダイヤモンドルーム(12階))
 6月5日(火) 9:40~ Sect. 2 講演 (同, 国際会議場(11階))
 6月6日(水) 9:40~ Sect. 2, 3 講演 (同 上)
 6月7日(木) 9:40~ Sect. 7, 8, 6 講演 (同 上)
 19:00~ Festivity Buffet Party (同, ダイヤモンドルーム(12階))
 6月8日(金) 9:40~ Sect. 4, 5 講演 (同, 国際会議場(11階))
 なお期間中4日と同様に 9:00 から参加登録の受け付けをしております。

2. Section Themes

- Section 1 : Physical Chemistry of Vacuum Metallurgy (Kinetics, Thermodynamics etc.)
 Section 2 : Vacuum Melting and Refining Processes (Induction, VAR, E. B., Plasma, Vacuum Degassing of Metals, etc.)
 Section 3 : Process Metallurgy in Vacuum (Pidgeon Process, Vacuum Distillation, Thermal Decomposition, Reduction, Reduction in Vacuum etc.)
 Section 4 : Behaviour of Materials in a Vacuum Environment
 Section 5 : Vacuum Deposition of Coatings and Self-Supported Structures
 Section 6 : Properties and Application of Vacuum Metallurgical Products
 Section 7 : Vacuum Equipment for Metallurgical Processes
 Section 8 : Welding and Casting under Vacuum, Economics of Vacuum Metallurgical Operations and Products, Other Topics in Vacuum Metallurgy

3. 特別講演

- Absorption and Evolution of Gases by and from Molten Iron Alloys
Dr. T. Saito, Professor of Tohoku University, Japan
- Steel Vacuum Refining : Structure and Properties of Metal
Prof. Dr. A. N. Morozov, Director of the Research Institute of Metallurgy, U.S.S.R.
- Possibilities and Limit of Vacuum Metallurgy and Remelting Processes in Steelmaking
Prof. Dr. M. Wahlster, Leybold-Heraeus GmbH & Co, Germany
- Physical Vapor Deposition of Metals, Alloys and Ceramics
Dr. R. F. Bunshah, Professor of Metallurgy, University of California, U.S.A.

4. 招待講演者

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| M. H. Olette, France (Sect. 1) | D. C. Carmichael, U.S.A. (Sect. 5) |
| V. I. Yavoisky, U.S.S.R. (Sect. 2) | W. Matejka, U.S.A. (Sect. 6) |
| J. Krüger, Germany (Sect. 3) | O. Winkler, Liechtenstein (Sect. 7) |
| R. L. Chuan, U.S.A. (Sect. 4) | Y. Arata, Japan (Sect. 8) |

5. 発表論文数

Section	1	2	3	4	5	6	7	8	計
国内	5	8	4	4	0	2	2	1	26
国外	4	9	3	3	7	1	2	6	35

6. 用 語：英語
7. 参加申し込み：所定の参加申し込み用紙に必要事項を記入の上、1973年3月31日までに下記事務局へお申し込み下さい。
8. 登 録 料：28,000円 (Proceedings, Preprints, Festivity Buffet Party 券, Cocktail Party 券を含む)
9. 送 金 方 法：(1) 東京銀行丸ノ内支店への振り込み
社団法人日本鉄鋼協会 ICVM and ESR 普通預金 No 106294
(2) 事務局への送金 小切手または現金
10. **Final Circular**：本国際会議の Final Circular (Provisional Programme, 申込み用紙添付) をお送り致しますのでご希望の方は下記事務局宛お申し込み下さい。
〒100 東京都千代田区大手町1丁目9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会国際会議事務局 Tel. 03-279-6021

第4回エレクトロスラグ国際シンポジウム(ESR国際シンポジウム)

参 加 者 募 集

日本鉄鋼協会主催のもとに、1973年6月7日、8日の2日間東京経団連会館において第4回エレクトロスラグ国際シンポジウムが開催されます。下記の要領で参加者の募集をいたしておりますので、お申し込み下さるようご案内いたします。

1. 会 議 日 程

- 6月6日(水) 13:00~18:00 参加登録(経団連会館 1102号室)
6月7日(木) 9:40~ 講演開始(経団連会館 1001号室)
6月8日(金) 9:40~ 講演開始(経団連会館 1001号室)

なお、7日、8日の両日とも、6日と同様9:00から参加登録の受け付けをしております。

2. Session Themes

1. Heat, Mass and Momentum Transfer in the Electrode-Flux-Ingot System
2. Relationship between the Operating Parameters and the Chemical, Physical and Mechanical Properties of the ESR Products
3. New Applications of ESR Technique
4. Manufacturing and Properties of Tool, Bearing, High Alloy Steels and Super Alloys
5. Equipments and Operations for the Production and the Properties of Large Ingots

3. 用 語：英語

4. 参加申し込み：

所定の参加申し込み用紙に必要事項を記入の上、1973年3月31日までに下記事務局へお申し込み下さい。

5. 登 録 料：ESR国際シンポジウムのみに参加される場合……………10,000円
並行して開催されます ICVM と ESR 国際シンポジウム両方へ
参加される場合……………5,000円

6. 送 金 方 法：(1) 東京銀行丸ノ内支店への振り込み
社団法人日本鉄鋼協会 ICVM and ESR 普通預金 No 106294
(2) 事務局への送金 小切手または現金

7. **Final Circular**：

本国際シンポジウムの Final Circular (Provisional Programme, 申し込み用紙添付) をお送り致しますので、ご希望の方は下記事務局宛お申し込み下さい。

〒100 東京都千代田区大手町1丁目9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会 国際会議事務局 Tel. 03-279-6021

“International Iron and Steel Congress 1974” Technical Paper 募集について

1970年(昭和45年)9月に本会が東京で開催いたしました「鉄鋼科学技術国際会議」を引継ぐ国際会議が、1974年(昭和49年)5月に、ドイツ・デュッセルドルフにおいて開催されることになりました。

主催国のドイツ鉄鋼協会では別記のごとく、Technical Paperを募集しております。前回の国際会議の成功が各国の協力に負うところが大きかつたこともあり、本会でも積極的に協力する考えでありますので、わが国から多数の論文発表ならびに参加されることを希望いたします。なお、応募論文は本会が受け付け、ドイツ鉄鋼協会に送付いたしますので、応募要項にご注意下さい。

本国際会議のFirst Communicationの概要を下記いたしますが、First Communicationをご希望の方はお申し出下さい。

記

1. Technical Paper 申込締切日

昭和48年5月28日(月)

2. Synopsis の規模

英文で1000語以内とし、正副2通およびその和文を添付すること。

(応募論文については、査読・調整をいたします)

3. 申込先 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館 (社)日本鉄鋼協会

4. First Communication 概要

- 1) 名 称 International Iron and Steel Congress Düsseldorf 1974
- 2) Main theme Metallurgical Technology of Iron and Steelmaking
- 3) 期 間 1974年(昭和49年)5月27日(月)～5月31日(金)
(会期前の5月23日(木)～25日(土)に工場見学プログラムがあります。
- 4) プログラム

5月23日(木)	Works visits in the Federal Republic of Germany and in neighbouring countries
～25日(土)	
26日(日)	Arrival of participants
27日(月)	morning Opening session with ladies. Review papers on the main theme
	afternoon Technical papers
	evening Reception given by the Mayor of Düsseldorf (capital of North Rhine-Westphalia).
28日(火)	morning Technical papers
	afternoon Technical papers
29日(水)	morning Technical papers
	afternoon Works visits in the immediate vicinity of Düsseldorf
30日(木)	morning Technical papers and/or papers on problems of topical interest external to the main theme
	afternoon Papers on problems of topical interest external to the main theme
	evening Farewell party
31日(金)	Boat trip on the Rhine or similar tours

5. Basic themes for technical papers

1. Burden and auxiliary material for iron and steelmaking
 - 1.1 Dressing of ores for ironmaking by crushing, screening, mixing, sintering, pelletizing and briquetting
 - 1.2 New ways of producing metallurgical coke
2. Ironmaking
 - 2.1 Measures to increase the productivity of blast furnace processes and plants and to reduce coke consumption in the blast furnace
 - 2.2 Operational experience with direct reduction
 - 2.3 Properties of sponge iron used as charge material for steelmaking
3. Steelmaking
 - 3.1 Measures to increase the productivity of basic oxygen processes and plants particularly in relation to metallurgical operations outside the converter

- 3.2 Measures to increase the productivity of high-duty electric arc furnaces with special regard to the charging of sponge iron and crushed scrap, including metallurgical operations outside the furnace
- 3.3 Operational experience with continuous steel-making processes
- 4. Special metallurgical treatment of high-grade steels
 - 4.1 Refining and metallurgical treatment processes operated under vacuum and by applying inert gas
 - 4.2 Remelting
- 5. Casting processes
 - 5.1 Continuous casting
 - 5.2 Pressure die casting
- 6. General references**

1) Submission of papers

Persons wishing to submit papers for presentation at the Congress should forward synopses of their proposed papers to the Sponsoring Society in their own country and not to the VDEh. Synopses, which must be received by August 1st 1973, should be submitted in duplicate and should NOT exceed 1000 words in length. The synopses must summarize the content of the proposed paper sufficiently fully to enable a decision to be made as to whether it can be accepted or not.

The Programme Committee will inform the authors by not later than November 15th, 1973 whether or not their papers have been accepted.

Authors, whose papers are accepted, will be required to forward the complete text for pre-printing by NOT later than 1st February 1974. They will also be required to forward a shortened version to form the text of their presentation of the paper at the Conference and to serve as an advance text for the simultaneous translators.

Supplements and contributions to the discussions, which are received in time, will be reproduced wherever possible and distributed together with the preprints. The time for their presentation at the Congress may not exceed 5 minutes.

2) Publication of papers

Preprints will be made of all original papers and sent to the participants in advance. After the meeting the proceedings containing all the papers and discussions will be published.

3) Congress languages

The official languages will be German, English and French. Simultaneous translation will be provided.

4) Works visits

In the afternoon of Wednesday, May 29th, 1974 works in the immediate vicinity of Düsseldorf will be visited.

From May 23rd to May 25th 1974 works visits will be made within the Federal Republic and in the neighbouring countries.

5) Ladies' programme

Throughout the Congress a special programme will be available for the ladies accompanying the participants.

9) Provisional registration for the congress

Attached you will find a form for noncommittal registration which is to be completed and returned to the Secretariat. The copy is for your own use.

7) Secretariat

Any questions, communications and registrations should be directed to

Verein Deutscher Eisenhüttenleute (VDEh)

4 Düsseldorf 1

Postfach 8209

Telephone: 0211/1 01 51

Telex: 85 82 512

第 18 回材料強度と破壊国内総合シンポジウム

共催：日本学術会議強度と破壊分科会，日本機械学会，日本金属学会，日本鉄鋼協会，
日本材料学会，日本材料科学会，日本材料強度学会

協賛：応用物理学会，化学工学協会，高分子学会，土木学会，日本化学会，日本建築学会
日本航空宇宙学会，日本造船学会，日本物理学会，溶接学会

趣旨：破壊，疲労およびクリープなど強度上の諸問題は，物理学，化学，応用数学，金属学，材料学，
材料試験，応用力学，機械設計など各分野に関連した Interdisciplinary な学問分野であります。
そこで上記関連諸学会共催，協賛の下に，これまで毎年春，表記シンポジウムを開催してきました
たが毎回きわめて盛会であります。今回は前回のように，最近の研究発表，総説，展望的解説，
問題点の提起をふくめた選定講演をとり上げました。奮つてご参加下さい。

時：昭和 48 年 4 月 4 日（水）9:15～17:40

所：東京工業大学講堂

交通の便：東急目蒲線・田園都市線 大岡山駅下車徒歩 3 分

選定題目シンポジウム

Part I ミクロ（微視）とマクロ（巨視）の結びつけに関するシンポジウム

<座長> 中 村 正 久

9:20～9:50 1. 遅れ破壊現象の転位論的解釈 阪大基礎工 教授 理博 藤田 英一
10:00～10:45 2. 超高压電子顕微鏡によるアプローチ 名大工 教授 理博 井村 徹

<座長> 宮 本 博

10:55～11:45 3. ミクロとマクロの結合力学的アプローチと破壊力学・
き裂力学との関係について 東北大工 教授 理博 横堀 武夫
12:00～13:00 昼 食
13:00～13:30 4. 環境強度に対する材料強度学的アプローチ 東北大工 教授 理博 横堀 武夫
東北大材強度研助教授 工博○市川 昌弘

<座長> 荒 木 透

13:40～14:20 5. 近接切欠の脆性破壊発生特性に関する実験的研究 神戸製鋼構造研 工博 池田 一夫
広島大工 永井 欣一・船舶技術 前中 浩
三菱重工技術本部広島研 梶本 勝也
14:40～15:05 6. 強力鋼の遅れ破壊き裂の伝播挙動 金材技研主任研究官 ○青木 孝夫
研究室長 工博 金尾 正雄
東大工 教授 工博 荒木 透

— 5 分 休 憩 —

Part II 重複因子による強度と破壊に関するシンポジウム

<座長> 鶴戸口 英 善

15:10～15:45 7. 重複因子による破壊に対する確率論的アプローチ 電気通信大教授 理博 田中 栄
15:55～16:45 8. クリープと高温疲労の相関性 京大工助教授 工博 大谷 隆一
16:55～17:30 9. 切欠材の重複因子による強度と破壊 東工大 教授 工博 中沢 一

参加費無料

シンポジウム論文集 (Proceedings of 18th National Symposium on Fracture)

活版印刷約 130 頁，1 部 1,000 円（送料共）がありますから，希望者は代金を添えて，3 月 15 日
までに下記へお申し込み下さい。（以後は当日会場売り）

申込先 〒980 仙台市大町 1 丁目 1-13（東活ビル内）Tel. 仙台 (0222) 25-3098 日本金属学会

新刊紹介

特別報告書 No 14

「わが国における最近の大形形鋼製造技術の進歩」

刊 行 案 内

ご承知の通り、大形形鋼は港湾、鉄道、道路、建設、造船、橋梁等用途はきわめて応範にわたっており、諸産業の経済発展に欠くべからざるものとなつております。

本会では昭和 39 年に大形分科会が設置され 8 年を経過しました。この間各社の共同研究、技術研讃の場として、長年蓄積してきた大形形鋼製造技術の発表、検討が行なわれ、わが国のその製造技術ならびに設備の改善に大きな成果をおさめ、量産化設備による生産能率の増大、品質の安定がはかられたことは言うまでもありません。

しかし、わが国にはいまだ大形形鋼の製造法、設備、レイアウト、工場管理などに関し総合的にまとめられた資料はなく、大形分科会の資料を集大成することは、最新の技術情報および将来の技術指針として、非常に価値あるものと考え、ここに「わが国における最近の大形形鋼製造技術の進歩」を発行いたしました。

つきましては下記により販売いたしますので、御購読下さいますようご案内申し上げます。

1. 定 価 会員 1900 円 非会員 2500 円 (送料本負担)
2. 申込方法 書名、所要部数、送り先、氏名を記し代金を添え現金書留にてお申し込み下さい。
3. 申 込 先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館
日本鉄鋼協会編集課 (03-279-6021)

4. 目 次

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 1 工場レイアウト | 5. 1 概 要 |
| 1. 2 作業実績 | 5. 2 鋸断機以降のレイアウト |
| 1. 3 要員配置 | 5. 3 鋸断機および冷却床設備 |
| 2. 1 概 要 | 5. 4 鋸断機と冷却床作業 |
| 2. 2 使用材料 | 5. 5 合理化状況 |
| 2. 3 加熱炉設備 | 5. 6 設備・作業上の問題点と今後の方向 |
| 2. 4 加熱作業 | 6. 1 概 要 |
| 2. 5 炉 修 | 6. 2 精整設備 |
| 2. 6 合理化状況 | 6. 3 精整作業 |
| 2. 7 加熱炉における問題点と今後の方向 | 6. 4 合理化の経過 |
| 3. 1 圧延設備 | 6. 5 現状の問題点と今後の方向 |
| 3. 2 圧延作業 | 7. 1 検査組織 |
| 3. 3 圧延設備の保全 | 7. 2 検査方法および検査内容 |
| 3. 4 圧延作業の問題点と今後の方向 | 7. 3 表示・結束 |
| 3. 5 圧延作業の問題点と今後の方向 | 7. 4 検査表示の問題点と今後の方向 |
| 4. 1 概 要 | 8. 1 工程管理 |
| 4. 2 ロール管理の組織と機能 | 8. 2 品質管理 |
| 4. 3 ロール | 8. 3 設備管理 |
| 4. 4 ロール整備 | 9. 1 新日本製鉄八幡製鉄所・軌条工場 |
| 4. 5 ロール軸受 | 9. 2 川崎製鉄水島製鉄所・中形工場 |
| 4. 6 ロール関係の合理化 | 9. 3 日本鋼管福山製鉄所・第二大形工場 |
| 4. 7 ロール管理の問題点と今後の方向 | 9. 4 新日本製鉄君津製鉄所・大形工場 |

